



## Fact Findingといへりと

杉浦 吉治

表題の言葉を初めて耳にしたのは、現役時代に財団法人（現公益財団法人）日本生産性本部主催の「経営コンサルタント指導者養成講座」（一年コース）を受講したときだ。この講座では、特に実習のとき、この言葉をインストラクターから何度も聞かされた。

「実情調査（事実確認）」を怠るなということだ。

ところで、日銀新総裁のことが話題になっていた頃の二

〇二二年二月十五日の日経新聞・朝刊一面「春秋」欄に、次の文章が載っていた。

▼「『社会の存続基盤を危うくするうえで通貨を堕落させること以上に確実な手段はない』。41年前、日銀創立百年

「春秋」欄の筆者が、前川

ある。

総裁の講演を間違つて（レーニンを飛ばして）引用したのではないか、と思い確認のため日経本社へ電話したところ、「ここではわからないので、文書で質問してほしい」と言

の折、前川総裁は講演でケインズの言葉を引いた。…」

これを読んだ私は、これは

かに彼の著『平和の経済的帰

結』（『ケインズ全集』第二卷、

早坂忠訳、東洋経済新報社、

一九七七）とそれを引用した

『説得論集』（同第九巻、宮

崎義一訳、同、S五六）にそ

の言葉は書かれているが、そ

の言葉の前に「レーニンは、

確かに正しかったのだ。」と

ある。

ところで、日銀新総裁のこ

とが話題になっていた頃の二

〇二二年二月十五日の日経新聞・朝刊一面「春秋」欄に、

次の文章が載っていた。

▼「『社会の存続基盤を危

くするうえで通貨を堕落させ

ること以上に確実な手段はな

い』。41年前、日銀創立百年

われた。そこで、東京本社の「春秋」欄筆者宛質問のハガキを出した。しかし、何日待つても返事がないので、「春秋」には間違いはなかつたのかと思い、再度確認のため今度は日銀本店へ前川総裁の講演の内容を問うた。すると、親切にネットで検索する方法を教示してくれた。それをご紹介しよう。「日本銀行金融研究所」→「歴史統計ほか」↓「日本銀行百年史（1982—1986）」→「序に代えて『日本銀行の使命』」で前川総裁の講演全文が検索できる。

読んでみると、確かに「ケインズは『社会の存続基盤を…』」とあり、ケインズの二冊の著書にある「レーニンは、…」は省略されていた。

そこで、改めて日経新聞社へ「前川総裁の講演の内容を入手したが、確かに『春秋』のとおりであつた。『春秋』欄のスペースに制約があるであります。私はロシア語は読めないので、真偽のほどは分からせんが、この研究者は相手を調べて書いているのだと思います。まず、それをお読みください。」とあり、それをお読み

## 『Retrospectives: Who Said "Debauch the Currency" ?』

Keynes or Lenin? Michael V. White and Kurt Schuler (2009)』という論文が添付され、開けてみてビックリ! A4サイズでびっしり英文十枚の論文である。まあ困った、これを訳すのに何日かかるか?しかし、根井教授から親切にご教示いただいたものだ、やらねばならぬ。

気持を引き締めて少しづつ翻訳作業を進めた。この論文の筆者が参考文献とした二十点の他引用した十八点の論文うち、『歴史とは何か』の著書で有名なE・H・カーが『ボリシェヴィキ革命』(第一~三巻)を著しており、そのうちの第二巻(宇高基輔訳、みすず書房、一九六七)、また、かの有名な『レーニン全集』の第三十一巻(レーニン全集刊行委員会訳、大月書店、一九五九)、やらないケインズ・キデルスキーの『ジョン・メイナード・ケインズ 裏切られ

た期待 1883~1920 第二

のだ。

## 卒業論文返します

返却(希望の方は、連絡ください(メール、手紙・はがき、電話等で)。受領後、受領書と送料(切手)を返送ください。

### 卒業論文を返してもいいとの感想

「高齢化社会に向けての老人介護福祉制度」

四六回 指本(安江) 郁子

最後に、日銀前川元総裁は、レーニンの言葉かどうかの真偽はともかくとして、資本主義国の中銀の榮えある創立百周年の記念講演に「レーニン」を登場させたくはなかったのではなかろうか、と勝手な推測(邪推)をしてこの拙い隨想を終える。

このたびは長期保管していただいた卒業論文の返却ありがとうございました。このたびは、資料を大量にコピーして父親のワードプロセッサーを使って卒業論文を作成していたことを思い出しました。現在の介護保険制度について卒業論文を作成していたことを思い出しました。

一九九七年当時、図書館で資料を大量にコピーして父親のワードプロセッサーを使って卒業論文を作成していたことを思い出しました。このたびは、このたびは長期保管していただいた卒業論文の返却ありがとうございました。このたびは長期保管していただいた卒業論文の返却ありがとうございました。このたびは長期保管していただいた卒業論文の返却ありがとうございました。

引用文中の傍線は筆者が付す

学部十四回

すみやかに・よしはる

としたようだが、ついに疑問点は解明されなかつた。肝心なところが書かれていなかつた。『Talk with Bolshevik Head』とか『Lenin Pontificates』のタイトルで記事が掲載されており、『New York Times』に

済新報(吉川洋著、ちくま新書、一九九五)、購入したばかりの新訳『ジョン・メイナード・ケインズ 1883~1946: 経済学者、思想家、ステーツマン』上巻(ロバート・スキデルスキー著、村井章子訳、日本経済新聞出版、二〇二三)等も併せ読んでみたが、レーニンがいつ、どこでその言葉を宣言したかはついに判明しなかつた。また、その論文によるところはやつたのだからこれで満足しよう。

この論文は、『ケインズ全集』(宮崎義一監訳、東洋経済新報社、一九九一)をそれ取寄せて読んでみたが、疑問点の解説には至らなかつた。やうに、手元にある『ケインズ全集』をよく読むと、前川総裁が引用した言葉の十行前に「レーニンは、資本主義体制を打倒する最善の道は通貨を台無しにすることだ、と宣言したといわれている。」とあった。やはり、あの言葉はケインズの推測だつたのか?しかし、できる限りのことはやつたのだからこれで満足しよう。

この論文は、『ケインズ全集』(宮崎義一監訳、東洋経済新報社、一九九一)をそれ取寄せて読んでみたが、疑問点の解説には至らなかつた。やうに、手元にある『ケインズ全集』をよく読むと、前川総裁が引用した言葉の十行前に「レーニンは、資本主義体制を打倒する最善の道は通貨を台無しにすることだ、と宣言したといわれている。」とあった。やはり、あの言葉はケインズの推測だつたのか?しかし、できる限りのことはやつたのだからこれで満足しよう。

## 定年退職の「」挨拶

垣田 直樹



一九九〇年四月に着任して以来三六年が経過し、このたび無事に定年を迎えることとなりました。一九九〇年はちょうどバブルが崩壊し、日本経済が停滞の暗闇に入った年でした。そんな時期に、私は富山大学経済学部で専任教員として研究と教育をスタートさせました。前年までは大学院生でしたので、いきなりメジャーのマウンドに立つて野球をするようなものだつたと思ひます。

それほど多くなかつたと記憶していますが、その中に毎回必ず出席し、最前列で熱心にノートを取る学生がいました。あるとき、その学生に講義の理解度を尋ねてみると、ノートを取るのに精一杯で内容は難しくて理解できていない、という予想外の答えが返つてきました。このことに私は大いに驚き、それ以後の講義方針を大きく転換する契機となりました。

研究の方は、日本経済と同じく長らく暗闇の中でもがいでいるような状況でした。しかし、九〇年代の終わり頃から学内外の研究者と共同研究を進めることで、徐々に光明が見えてきました。私は不完全競争を前提とした貿易政策の理論分析を主に行つていましたが、財政学を専門とする共同研究者とともに、物品税や生産補助金の国際調和がペレート最適となる条件を探る研究は、非常に刺激的なものでした。海外の国際学会で報告する機会を得たこともあり、その頃から自分の視野が世界へと開けていったと感じています。

私の専門は国際貿易理論で、数学を多用するミクロ経済学の応用分野です。着任当初の数年間は、黒板に数式や図を埋め尽くして講義をするスタイルでした。当時、受講生は



曜日午後にセミナーが開か

その延長として、一九九九年十月から一年間、豪州・メルボルン郊外のラトローブ大学 (La Trobe University) に在外研究で滞在することができました。これは私の人生観・世界観に非常に大きな影響を与えた経験でした。私は「観光客の視点にならないこと、現地に溶け込み、act like a native の姿勢で過ごすこと」を心に決めて渡豪しました。

日本の大学では考えにくいことですが、豪州（ひいては西欧）の大学には学内にバーがあり、アルコールが提供されています。ラトローブ大学ではセミナー後に必ず学内の [Eagle Bar] で報告者を交え、飲みながら談笑するのが慣例でした。まずピッチャーのビールを飲み、その後はワインに移ります。豪州は世界有数のワイン産地で、特にメルボルン近郊のヤラバレー (Yarra Valley) は有名です。話を戻しますと、Eagle Bar ではひたすら飲んでしゃべり、ツマミはほとんどありません。これはどうやらロンドン由来の慣習のようで、体にはあまり良くない気もしました。私はいつも最後まで同席し、アパート(正確にはtown house)

に帰るのは午後九時頃でした。

この一年間の在外研究を経て帰国した後、私はゼミナー

ルの方針性を大きく変更しました。卒論を英語で書くこと、

留学をサポートすること、そしてゼミ生を海外に連れて行き、現地でプレゼンせることを重視するようになりました。交流協定校とのつながりを活かし、ゼミ生を引率して発表を行い、とりわけラトローブ大学にはゼミ生を連れて訪れることができました。

私は、自分に衝撃を与える体験こそが人を次のステップへと導くのだと、身をもつて学びました。そのような機会を与えてくださった教職員の皆様、そしてゼミ生諸君、富山大学経済学部には心から感謝しています。



## 新任

### 定年退職

(二〇二五年三月三一日)

龍世祥  
松井隆幸  
教授

逝去  
龍世祥  
二〇二五年七月十三日逝去  
された。六十五歳

### 教員の異動

## 母校だより

末筆ながら、越嶺会のさらなるご発展と、会員の皆様のご健勝を心より祈念いたします。  
かきた・なおき

担当  
当・環境経渓学  
教授  
八木迪幸 (やぎ・みちゆき)

最終学歴	東北大学大学院 (環境科学研究所科 (博士..環境科学)
前職	講師 九州大学都市 研究センター・
出生年	一九八四年八月 ひとこと..環境経済学・環境
出身地	岩手県洋野町 経営学の視点から、企業と 地域の持続可能な発展を研 究しております。カーボン ニュートラル社会の実現に 挑戦できる日々を楽しみに しています。
竹地潔教授	二〇〇二年一〇月着任 労働法担当 山田潤司准教授 二〇一二年四月着任 金融論担当 鈴木敬史助教 二〇二三年四月着任 知識的財産法担当 南山大学法学部へ



## 富山大学 統合二十周年 記念式典

二〇二五年十月一日黒  
田講堂において、富山県  
知事をはじめ多数の来賓  
を招いて式典等が挙行さ  
れました。



式典では、齊藤学長の  
開会挨拶、文部科学省、  
富山県知事、富山市長の  
来賓あいさつの後、中尾  
哲雄さんが、同窓会連合  
会初代会長として共催者  
挨拶を述べられた。  
その後、「富山大学の  
豊かにし、次の一步を踏み出  
す力になると信じております。

## 転出

(二〇二五年三月三一日)

今一をテーマにシンポジウムがあり、中尾さんもパネリストとして登壇、ふるさと納税が盛んだが母校にももつと寄付しましょうと呼びかけられた。

次に「富山大学のNEXT二〇年に向けて」として、近年卒業修了した三名と在学生一名が経験や、抱負を述べた。

## 本部だより

### 越嶺会総会

二〇二五年六月五日(木)富山駅北カナルパークホテルで開催された。

昨年十月創立百周年記念大

会を開いた後の通常総会であつた。開会挨拶で伍島二美男会長は、記念事業での会員の

協力に感謝し、絆を強めるこ

とができる意義のある行事で

あつたと振り返った。

中尾哲雄最高顧問は、NH

Kの朝ドラでこの秋から「ば

けだけ」が放送されるが、八

雲会会長として取材を受けて

いたが、出演はしない、と笑いて

いたが、出演はしない、と笑いて

いたが、出演はしない、と笑いて

いたが、出演はしない、と笑いて

いたが、出演はしない、と笑いて

いたが、出演はしない、と笑いて

総会議長に、令和五年六年度の決算を原案通り承認し、令和七年度の事業計画を伍島会長、荻野彦・越嶺会人材育成研究会長の補足説明ののち、異議なく承認された。

百周年の残り事業は、講義室の改修、人材育成事業等で

ある。役員改選では伍島二美男会長の三選を決めた。

議事を終え、現役学生との

つながりとして、富山大学吹

奏楽団の経済学部一年山塚香

凛さんほか四名が木管五重奏

で会場を和ませてくれた。

次いで学生三名による研究

発表があった。矢島桂先生ゼ

ミ東堂桂修、谷晃成、山崎真

実の三氏が「富山県における

研究」について図表を映写し

説明した。今年三月、県庁で

記者会見し、NHK、新聞社で

も取り上げられたものである。

### ヘルン文庫特別展示 十二月二二日(月)まで

NHK朝ドラ「ばけばけ」の放送にあわせ、特別展示として、ヘルン文庫に所蔵するハーンやセツが実際に手に取つていたと思われる和装本と、ハーンが書いた怪談作品を中心に、再話文学と原話との違いを紹介します。

【会場】中央図書館5F

【期間】(十二月二二日(月))

中央図書館の開館時間に準ずる。ヘルン文庫前での展示です。ご覧いただけます。

議事では、山瀬孝副会長を

森口毅彦学部長は、経済学部基金に多額の寄附が寄せられ、データサイエンス教育を進めていて高い評価を得ていることを伝えられた。

ヘルン文庫公開日に関わらず

ご覧いただけます。

最後に新卒一年三年の四名が登壇、自己紹介の後、「ふるさと」合唱をリードし、「立山神通輝いて」と歌う中尾さん作詞の四番を中尾さん(学部五四回)、写真撮影は金谷春雄さん(学部二回)であった。

司会進行は重原佐千子さん(学部五四回)、写真撮影は金谷春雄さん(学部二回)であった。

### 役員名簿(一部)

会長 伍島二美男(学部三〇回)

最高顧問 中尾哲雄(学部八回)

副会長 堀田正之(学部二六回)

顧問 森口毅彦(学部三二回)

顧問 堀田博和(学部三四回)

顧問 竹野孝誠(学部三四回)

顧問 竹野達(学部三四回)

顧問 田中浩一(学部三八回)

顧問 森口幸子(学部三八回)

顧問 金谷春雄(学部二回)

顧問 殿村春雄(学部二回)

監修 飯塚常任幹事(学部二回)

監修 関東越嶺会長(学部二回)





## 2023(令和5)年度 越嶺会会計決算書(令和5(2023)年4月1日～令和6(2024)年3月31日)

## 1. 一般会計

単位:円

収入の部	決算額	支出の部	決算額
前年度繰越金	1,371,188	事務費	224,308
入会金・終身会費	6,060,000	通信費	2,859,757
総会等懇親会費	415,500	印刷費	1,785,740
会報発行協力金	63,000	手数料	50,506
利息收入	62,154	旅費	162,000
越嶺会基金より	1,000,000	総会費	653,350
		人件費	1,457,544
		会議費	36,975
		慶弔費	0
		卒業祝賀会経費	0
		学部助成費	0
		同窓会連合会分担金	80,200
		支部助成金	87,000
		予備費	20,000
		翌年度繰越金	427,738
合 計	8,971,842	合 計	8,971,842

## 2. 越嶺奨学基金会計

収入の部	決算額	支出の部	決算額
前年度繰越金	20,303	事業費	160,000
利息收入	69,000	予備費	0
越嶺奨学基金より	100,000	翌年度繰越	29,303
合 計	189,303	合 計	189,303

## 3. 百周年特別会計

収入の部	決算額	支出の部	決算額
寄付金	27,155,977	手数料	169,454
利息收入		翌年度繰越金	26,986,523
合 計	27,155,977	合 計	27,155,977

## 4. 基金

基 金 名	R 5 年 4 月 1 日	R 6 年 3 月 31 日
越嶺会基金	25,000,000	24,000,000
越嶺奨学基金	29,100,000	29,000,000
合 計	54,100,000	53,000,000

## 2024(令和6)年度 越嶺会会計決算書(令和6(2024)年4月1日～令和7(2025)年3月31日)

## 1. 一般会計

単位:円

収入の部	決算額	支出の部	決算額
前年度繰越金	427,738	事務費	404,838
入会金・終身会費	6,420,000	通信費	3,024,130
総会等懇親会費	0	印刷費	1,666,332
会報発行協力金	46,000	手数料	51,864
利息收入	32,002	旅費	238,040
越嶺会基金より	1,500,000	総会費	0
名簿代	10,000	人件費	1,527,565
※ 1年 2 9 6 名		会議費	75,628
/ 3 3 9 名		慶弔費	11,888
2年 1 4 4 名		卒業祝賀会経費	892,182
3年 6 名		学部助成費	0
4年 5 名		同窓会連合会分担金	80,300
計 3 2 1 名		支部助成金	68,832
		予備費	66,000
		翌年度繰越金	328,141
合 計	8,435,740	合 計	8,435,740

## 2. 越嶺奨学基金会計

収入の部	決算額	支出の部	決算額
前年度繰越金	29,303	事業費	120,000
利息收入	30,000	予備費	0
越嶺奨学基金より	100,000	翌年度繰越	39,303
合 計	159,303	合 計	159,303

## 4. 基金

基 金 名	R 6 年 3 月 31 日	R 7 年 3 月 31 日
越嶺会基金	24,000,000	22,500,000
越嶺奨学基金	29,000,000	28,900,000
合 計	53,000,000	51,400,000

## 5. 経済学部基金 2024年度決算

収入の部	決算額	支出の部	決算額
個人11件(うち匿名4件)		事業経費	636,637
団体 1 5 団体		次年度繰越金	12,682,215
合 計	13,318,852	合 計	13,318,852

## 3. 百周年特別会計

収入の部	決算額	支出の部	決算額	備 考
R 5 年度寄附金	27,155,977	R 5, R 6 年度計	169,454	
R 6 年度寄付金	8,399,035	35,555,012	118,760	
祝賀会費	2,280,000	広報費	3,630,000	新聞3紙全面1回+1紙半5段単色2回
ご祝儀	370,000		2,695,000	テレビ3社+制作費30万
小旅行会費	200,000	越嶺会報	4,600,000	越嶺会報分担金(※1)
ゴルフ懇親会費(55名)	275,000	H P 改善維持費	550,000	H P 改善維持費(ジェック)
ゴルフ協賛金	12,000	会場費	281,040	オーバードホール
広告収入	650,000	会場費(縦看等)	172,810	
※富山銀行30万、		会場費(WEB配信)	427,532	
富士印刷20万、		記念品代	1,318,524	※2
塙崎商衡10万、		吹奏楽団謝礼等	727,040	カナルパークホテル支払い
北陸電気製造5万		祝賀会経費	4,210,141	写真サークル等
		記録経費	46,000	
		小旅行(立山岩瀬)経費	368,400	
		ゴルフ経費	381,395	
		残額	19,645,916	
合 計	39,342,012	合 計	39,342,012	

※1 越嶺会報96～99号通信費、印刷費の約1/2を分担

※2 手提袋、プログラム、富山大学ヒストリア、クリアファイル

## 越嶺会会計予算案(令和7(2025)年4月1日～令和8(2026)年3月31日)

## 1. 一般会計

単位:円

収入の部	予算額	支出の部	予算額
前年度繰越金	328,141	事務費	330,000
入会金・終身会費	6,200,000	通信費	2,900,000
総会等懇親会費	520,000	印刷費	1,700,000
会報発行協力金	700,000	手数料	50,000
利息收入	35,000	旅費	250,000
越嶺会基金より	1,500,000	総会費	800,000
		人件費	1,600,000
		会議費	40,000
		慶弔費	15,000
		卒業祝賀会経費	1,000,000
		学部助成費	0
		同窓会連合会分担金	82,100
		支部助成金	100,000
		予備費	416,041
合 計	9,283,141	合 計	9,283,141

## 2. 越嶺奨学基金会計

収入の部	予算額	支出の部	予算額
前年度繰越金	39,303	事業費	120,000
利息收入	35,000	予備費	54,303
越嶺奨学基金より	100,000	合 計	174,303
合 計	174,303	合 計	174,303

## 3. 百周年特別会計

収入の部	予算額	支出の部	予算額
前年度繰越金	19,645,916	事業費	19,645,916
合 計	19,645,916	合 計	19,645,916

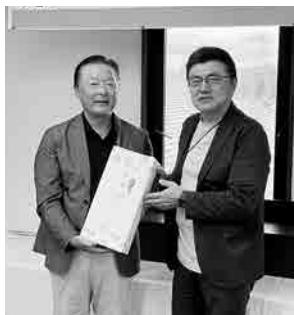
## 4. 基金

基 金 名	R 7 年 3 月 31 日
越嶺会基金	22,500,000
越嶺奨学基金	28,900,000
合 計	51,400,000

## 第三五回越嶺会グリーン会 ゴルフコンペ開催報告

十月十三日(月・祝)、太閤山カントリークラブ(富山県射水市平野一番地)にて、開催されました。当日は小雨降る中でのスタートでしたが、十月半ばとしては割りと暖かくもあり、天候も大崩れすることなく、今年は初参加者五名を含め、総勢三六名が集い、同窓の交流親睦を深めながらプレーを楽しみました。

プレー後の表彰式では、和やかな雰囲気の中、優勝の三〇回桑原幹也さんをはじめ、第八位越嶺会最高顧問賞、第三三位太閤山カントリークラブ賞、第三四位越嶺会グリーン会会長賞、ベスグロ賞やドラコン賞、ニアピン賞、レデイース賞などの各賞が発表さ



土屋会長 (34回)  
優勝者桑原様 (30回)

ご参加いただいた皆さま  
誠にありがとうございました。  
今回のコンペを通じて育まれ  
た同窓の絆をこれからも大切  
にしていただければ幸いです。  
次回のコンペでも、お一人で  
も多くの会員の皆さまの元気  
な笑顔にお会いできることを  
楽しみにしております！



## 今村太閤山CC社長(33回) 閉会挨拶

院 九 回	短 大 七 回	四 四 回	四 一 回	四 三 八 回	三 六 回	三 五 回	三 三 回	三 三 回	三 〇 回
福 井 幸 博	木 瀬 博 文	柴 田 正 明	金 瀬 正 志	長 谷 川 正 人	島 谷 武 志	江 畠 教 英	杉 本 正 人	檜 山 和 良	岡 本 武
金 瀬 正 志	記	本 田 泰 郎	新 川 兼 史	由 美	古 里 博 人	二 口	丸 杉	太 田 博 喜	大 野 公 久
						洋	輝	土 屋 誠	中 本 秀 史
								鶴 瀬 初 弘	小 竹 茂 樹
								宮 村 樹	三 箇 周 治
								青 山 哲 哉	二 回
								桑 原 幹 也	二 六 回
								今 村 巧	二 九 回

二〇二五年五月二十四日(土)  
高岡カンントリー倶楽部で仰岳  
会が世話をして開催された。  
越嶺会七名、仰岳会十三名、  
薬窓会六名、雪紋会(理学  
部)一名、計二七名の参加で  
あつた。  
成績は、団体優勝が薬窓会、  
個人優勝は島崎修一さん(仰  
岳会)、準優勝は松原隆光さ  
ん(越嶺会)であつた。  
越嶺会参加者は、松原隆光  
木村昌幸、関井哲仁、檜山和  
良、木勢博文、杉本正人、長  
谷川正人のみなさんであつた。

同窓会連合会

二〇二五年五月  
高岡カントリー俱  
会が世話をして開  
越嶺会七名、仰  
薬窓会六名、雪  
部)一名、計二七  
あつた。  
成績は、団体優  
個人優勝は島崎修  
岳会)、準優勝は  
ん(越嶺会)であ  
越嶺会参加者は  
木村昌幸、関井哲  
良、木勢博文、杉  
谷川正人のみなさ

二〇二五年七月  
十時より富山電気  
された。事業報告  
承認され、記念講  
「すこやかに生き  
科医が教える腰痛  
対処法」と題して  
口善治・整形外科  
りやすく面白く話

二〇二五年七月一九日(土)  
十時より富山電気ビルで開催  
された。事業報告決算報告が  
承認され、記念講演では、  
「すこやかに生きる 整形外  
科医が教える腰痛と関節痛の  
対処法」と題して医学部の川  
口善治・整形外科教授がわか  
りやすく面白く話してもらつ

懇親会では、初代会長の中尾さんが、乾杯の発声をして開会した。た。

越嶺会からの参加者は

中尾哲雄、伍島二美男  
由美子、昌敏肇  
田形大波加  
殿村肇  
三波幸子  
左京俊孝

ホームカミングデー

卒業生の母校訪問を促し友や恩師との旧交を温めてもらい、母校との繋がりを強めてもらう行事である。今年は教育学部が担当して十月二十四日（土）十時からオンライン参加四名を含む六〇名が参加して開催された。

シンポジウムは、地域、技術、国際化をテーマに教員養成と学校教育の在り方を展望する「未来を拓く学びのかたちー変化する社会と教育のデザイン」のもと、  
1. 共同教員養成課程の取り組み 徳橋曜教授  
2. 生成A Iとこれからの中学生

シンポジウム



## 交流会（鳥居さん）

伍嶋会長からは昨年十月の百周年記念大会をはじめ記念事業についてお礼とこの後の計画についてお話をあり、森口学部長からは経済学部、富山大学の近況についてお話をありました。

今年度の催しとしてオーケストラアンサンブル金沢四名による演奏を聴いてもらいました。バッハのアリアや希望した。バッハのアリアや希望の星など、アンコールを含め六曲を披露してもらい、本格的な演奏を目の前で感じることができ貴重な体験でした。

七月二五日（金）一八時三〇分より金沢ニユーグランドホテル銀閣において女性二名を含む三九名で開催いたしました。

石川支部総会

## 支部・各回だより

で懇親会が始まりました。なつかしい顔ぶれとの再会のみならず、会場で初めてお会いした人とも話が弾みおいしい料理と共に楽しいひとときとなりました。



四 四 回	四 一 回	四 〇 回	来 賓	伍 島 二 美 男 越 嶺 會 長
寺 末 哲 也、	本 寺 泰 秀 俊、	杉 原 本 泰 也、	茶 谷 浩 一、	堀 越 野 里 見 浩 豊 一 次 郎
山 島 茂	西 田 恵 介	南 田 和 花	古 村 和 創	古 屋 健

蘭守貴弘前支部長の中締めの挨拶をいただき無事お開きとなりました。森支部長からは、引き続き来年の総会でも新たな趣向を凝らした催しを実施したいとお話があり、事務局としてもまた参加したいと思つてもらえる石川支部総会を開催していきたいと思つています。イベントが重なる時期ではありますがあつて、皆様お誘いあわせの上多數の参加をお待ちしています。

### 令和7年度関西支部総会

三 三 七 回	二 二 九 回	二 二 六 回	二 二 二 回	二 二 一 回	二 二 回	場 所	令和七年九月六日（土）
池 田 陽 介	畠 田 忠 吉	守 田 守 男	守 田 吉 春	守 田 三 宅	守 田 中 川	出席者 支 部 員	十二時～十五時
米 原 榮 一	椎 原 秀 雄	椎 原 秀 雄	椎 原 秀 雄	椎 原 秀 雄	椎 原 秀 雄	来 賓	「がんこ梅田本店」
脇 田 副 支 部 長	脇 田 副 支 部 長	脇 田 副 支 部 長	脇 田 副 支 部 長	脇 田 副 支 部 長	脇 田 副 支 部 長		

四 五 回	四 八 回	四 九 回	四 三 回	四 七 回	四 五 回
中 西 広 司	中 西 広 司	中 西 広 司	中 西 広 司	中 西 広 司	中 西 広 司
樺 英 和	樺 英 和	樺 英 和	樺 英 和	樺 英 和	樺 英 和
山 田 康 宏	山 田 康 宏	山 田 康 宏	山 田 康 宏	山 田 康 宏	山 田 康 宏
石 山 陽 介	石 山 陽 介	石 山 陽 介	石 山 陽 介	石 山 陽 介	石 山 陽 介
濱 頭 孝 之	濱 頭 孝 之	濱 頭 孝 之	濱 頭 孝 之	濱 頭 孝 之	濱 頭 孝 之
中 本 篤 志	中 本 篤 志	中 本 篤 志	中 本 篤 志	中 本 篤 志	中 本 篤 志
吉 村 誠 剛	吉 村 誠 剛	吉 村 誠 剛	吉 村 誠 剛	吉 村 誠 剛	吉 村 誠 剛
坂 北 尚 斗	坂 北 尚 斗	坂 北 尚 斗	坂 北 尚 斗	坂 北 尚 斗	坂 北 尚 斗
國 香 翔 太	國 香 翔 太	國 香 翔 太	國 香 翔 太	國 香 翔 太	國 香 翔 太
渡 智 寿	渡 智 寿	渡 智 寿	渡 智 寿	渡 智 寿	渡 智 寿
宮 腰 裕 之	宮 腰 裕 之	宮 腰 裕 之	宮 腰 裕 之	宮 腰 裕 之	宮 腰 裕 之

三宅支部長からは、昨年の創立百周年記念式典について、ネットで今も式典、シンポジウム、演奏会を見、聞くことができるので見てほしいと報告があり、また在学時の瀬岡、吉原先生がご存命なのは何よりうれしいことと述べられた。米原事務局長からは、百周年



記念事業への協力御礼があり、数々の資料を頂き、二〇二六年版経済学部のパンフから現況説明がありました。この後、恒例の皆様のショートスピーチが始まりました。谷垣先輩の乾杯のご発声に続き、それぞれが、学生時代の思い出や社会に出てからのご経験を話してもらいました。堅苦しくなくアットホームな皆様で作る同窓会が今年も再現でき、和気藹々とした楽しいひとときとなりました。

二口先輩からは、龍谷大や大阪観光大教授だった四回の羽田昇史先輩の紹介や、金森先輩からはガンバ大阪で社長を務めたこと、その後追手門学院大で教鞭をとり今はセキュリティ保護の仕事をしていられる(越嶺会報第九三号「今頑張るのは富山魂のおかげ」参照)との話に感銘しました。

西堀先輩からも社会に出てから、京大大学院に進まれ九州国際大で学生達にご指導された話しがありました。また今回十年振りに参加された中川先輩からは、富山での青春時代の懐かしいお話をご披露して頂き、皆

が青春時代を懐古しながら、熱心に聞き入っていました。

神戸支部長をしていた畠さんは、参加者が減少し神戸支

部を取り止めて関西支部に数年前より参加頂いております。が青春時代を懐古しながら、熱心に聞き入っていました。神戸支部長をしていた畠さんは、参加者が減少し神戸支

部を若い方からも、社会に出てからのご苦労話やこれからどう生きるかなど、なかなか興味深いお話しがありました。

最後に、今後の運営について皆様と協議しました。

今回の参加者十四名中、七十歳以上が十一名を占め、若い方が参加されず、このまま推移すれば、由々しき事態を招きます。事務局の三人(三宅、脇田、山田)も十一年経過し、新しい陣容に交代して欲しいとの強い願望でした。

支部存続の為に皆様からご意見を頂き、次回は、金森先輩と西堀先輩が幹事となり開催地・日時を決めて頂き開催することになりました。なによりも、現参加者の皆様が健康で引き続き参加を楽しむことがファーストと思います。皆様で力を合わせて、

歴史と伝統ある関西支部を存続していきましょう。

脇田 守男 記

## 東海支部総会・懇親会

令和七年九月二〇日 (土)

正午から名古屋栄の東京第一ホテル錦にて開催しました。来賓には森口経済学部長、山瀬越嶺会副会長をお招きして会員五七名と来賓二名の総数五九名の総会・懇親会となりました。

幹事	事務局	会計監査	会計	東海支部役員
幹事 (ゴルフ部会長)	事務局長	副支部長	支部長	中村昌弘
白石憲生 (36回)	45回	47回	32回	47回
				34回
				27回
				22回



顧  
問  
幹  
事  
(無)

「在と未来」→伝統産業の明日を考える→をテーマに美濃焼の製造過程の動画を交えての興味深い話を頂きました。パソコン操作のサポートとして人文学部卒の息子さんに参加頂きありがとうございました。

第二部の懇親会では、加藤幹事の司会により、最年長の十四回下平邦弘さんから大学への熱い思いの乾杯の発声を頂きました。

（昨年から富山大学の配偶者（経済学部に限らず）とご一緒の場合は特別優遇を試みましたが今年はそれを拡大して親子の同窓生にも参加費優遇としました。）

昨年に統いて一組の経済学部卒のご夫婦の参加と息子さん（人文学部卒）との親子参加がありました。こんなこともしながら多くの同窓生が楽

しく集えればと思ひます。  
また、今回が初参加の方が  
実に七名もいらっしゃって頂  
きました。嬉しい限りです。

特別講演として、岐阜県土岐市で三五年間陶磁器加工業を嘗む加藤浩成さん(二四回)から「地場産業・美濃焼の現

賞品は白エビせんべい等の富山名物でご家庭への懷かしいお土産となりました。懇談の時間にはサークルの先輩・後輩が思い出に興じているグループもいましたし、名刺交換にてビジネスの新たな人間関係を築いている方も多く見受けられました。

月二七日(日)予定しています  
東海支部会員の多くの参加  
を願っています。

月二七日(日)予定しています  
東海支部会員の多くの参加  
を願っています。

来年二〇二六年は力  
月二七日(日)予定しています  
東海支部会員の多くの参加  
を願っています。

月二七日(日)予定しています  
東海支部会員の多くの参加  
を願っています。

人六六五六三四三四三回  
文学六一六七五五回  
学回回回回回  
部

岩永雅人 小林義郎、  
石田尚秀 近藤秀  
加藤規久、  
倉地博之、  
峰谷将太  
田口寛道  
北川晃大  
加藤智旗

近眼 中自

会の最後には恒例の童謡“ふるさと”をテーブル毎に肩を組んで合唱して気持ちを一つにして再会を誓いました。今年は音楽好きの会員による生伴奏(サックスとギター二人)が合唱に花を添えました。この同窓会の輪をこれからも一緒に楽しく大きくしたいとの気持ちのこもった置田幹事の閉会の挨拶で三時間の会をお開きとしました。

中村  
記



## 第二十一回 越嶺会東北支部総会



アンケートを参考にして参考に加しやすくするために、支部総会を仙台市で土曜日の日中に開催することにしました。そして、二〇二五年（令和七年）十月十八日（土）お昼十二時半からJR仙台駅近くの「花蔵」にて開催しました。東北六県をエリアとする当支部には、二六六名の会員がおられます、今回は六名の出席で無事開催することが出来ました。

[支部役員]	
二〇二五年十月十八日改選	支部長 奥 清一（19回）
副支部長 加藤道雄（19回）	副支部長 尾山和之（19回）
幹事 鈴木政司（29回）	幹事 佐藤徹（29回）
監事（新任）中西知之（33回）	監事（新任）佐藤和之（24回）

総会では、奥支部長から東北六県をエリアとする当支部には、二六六名の会員がおられます、今回は六名の出席で無事開催することが出来ました。

「今日は、土曜日のお昼から開催してみました。前回よりは参加人数は増えたものの少なくて残念ですが、継続していくべきことが大切です。今後の支部運営の活性化について考えていきましょう。」との挨拶があり、続いて鈴木事務局長の司会進行で「活動報告」「会計報告」「監査報告」に続き、「役員選出」で決定いたしました。

### 少人数でも開催！と 意気込む【福井支部】

支部の活性化については、参加しやすくするために総会を毎年仙台市で開催してはとの提案があり、来年も開催することになりました。今回参加の皆さんとの再会は勿論、一人でも多くの東北支部会員が参加いただけるよう、広く会員への開催実施をアピールしていくことにしました。

昨年は学部創立百周年に合わせ記念大会前に開催し、十名を超える参加者がありました。LINEグループのメンバーが増えてきたものの、今年は少人数でも開催しました。

参加者は八名でしたが、なんと人文学部の方一名の初参加がありました。富山大学同窓会の福井支部、ということでも顔を出していただき、初の混合開催となりました。越嶺会本部からは、昨年同

様、堀田正之副会長さんがお越しになり、百周年記念式典の様子や、ハイブリッドで開催ができたことなど、感謝の言葉をたくさん頂きました。また、話題は懐かしい話のみならず、サークルの当時の会報誌を持参された方があり、皆で懐かしく回覧し話が弾みました。



ました。参加できない会員からもご意見ご提案をお伺いすることになります。最後に尾山副支部長の中締めで閉会となりました。

### 学部 参加者

十五回	高橋邦文
十九回	奥 清一
二十四回	尾山和之
二十九回	鈴木政司
三三回	佐藤 徹
	中西知之
	鈴木 記

ショーンを工夫しようと盛り上がりました。

<https://etsureikai-fukui.jimdo.com/>

平野新会長からは「今ある人脉とは違う、新たな人脉を作るチャンスです。さらに活性化をしていきましょう！」と、力強くコメントいただきました。

事務局より・今回あらたにホームページを開設しました。今後も内容更新して参ります。

叙勲  
おめでとうございます  
旭日双光章  
小竹茂樹さん(学部二二回)

川口直樹さん(学部三二回)  
鯖江市市政七〇周年記念式典において鯖江市市政功劳表彰(自治)を受けられました。  
中村和之・名誉教授  
富山市合併二十周年記念式典において、特別功労者(総合計画審議会部会長)表彰を受けられました。

### 表彰

おめでとうございます

参加者  
一一回 渡辺邦彦(人文学部)  
一一回 梯左武良  
一四五回 重久修造  
二〇回 舟木幸雄  
二一回 白崎章  
二六回 堀田正之  
二九回 平野恵次  
四五回 林智之

杉浦吉治氏(学部十四回、名古屋市在住)ご夫妻を囲む懇親会の開催  
—日本山岳写真協会展入選のお祝いを兼ねて—

杉浦氏は、本年も日本山岳写真協会展に入選の栄誉を得て上京されましたので、二〇二五年九月十二日(金)祝賀会を兼ねた懇親会として集いました。前日は東京都や神奈川県では記録的な豪雨によって、各地で冠水や河川の氾濫が発生しました。展示会場の東京都美術館にて、杉浦氏から、「月明かりの梅里雪山と明永氷河」の説

撮影した中の一枚と聴きました。梅里雪山は中国雲南省にあり、六七四〇mの最高峰は聖山のため未踏峰です。また、十七名の「日中合同梅里雪山第二次学術登山隊」(十一名の京都大学学士山岳会員と六名の中国人)全員の遭難事故(一九九一年一月)で一躍有名になった聖山です。

午後は、上野精養軒のレス特朗・サロンにおいて、開会挨拶の後、福田哲郎顧問(学部一八回)に乾杯の音頭をとつていただきました。ランチコースを賞味しながら歓談に移り、主賓の杉浦吉治氏から挨拶とともに山岳写真撮影の経験歴を拝聴しました。続いて皆さまの近況報告や語り合いながら、時の経過も忘れて和やかなひとときを過ごすことができました。

終了時間の接近にあわせて、渡邊慶孝氏(学部一四回)に締めの挨拶をお願いして、迫力ある一本締めで会を締めくくりました。

【出席者(敬称略)】九名  
学部  
九回 宮前喜久次  
十二回 柳澤一朗  
十三回 清水汎  
十四回 杉浦吉治ご夫妻  
十八回 大沢周  
二五回 渡邊慶孝  
饭塚哲郎  
柳澤一郎 記

「」参加いただいた皆さまには、大変有意義な一日を共有できましたことに心から感謝申し上げます。



## 会員の計報

謹んでお悔やみ申し上げます

卒業回	お名前	ご命日	卒業回	お名前	ご命日
元教員	龍 世祥	令7(2025).7.13	学部13回	五十里正二	令6(2024).12.28
高商18回	岩田 市三			脇田 達	令7(2025).1.16
学部1回	林 重彦	令5(2023).10.16		甲谷 晃	平31(2019)
学部2回	五十嵐久伸	令6(2024).9.7	学部16回	蜜澤 宥二	令7(2025).7.13
	東 宗幸	令7(2025).9.10	学部17回	竹山 彰	令6(2024).1.9
学部4回	川元 武人	令7(2025).4.16		木方 俊弘	令7(2025).10.4
	村田 稔	令7(2025).5.8	学部18回	成田 正一	令7(2025).9.21
学部5回	林 朝夫		学部20回	中村信一郎	令7(2025).5.30
学部6回	平井 岳生	令7(2025).7.19	学部21回	板谷 悅三	
	竹中 雅一	令7(2025).8.30		芝 教純	令7(2025).5.15
学部7回	深山 靖夫	令6(2024).9.3		永坂 國夫	令7(2025).4.7
	野口 修	令3(2021).3.7	学部24回	増岡 伸一	令7(2025).4.10
	長瀬 克之	令7(2025).7.12	学部26回	龜田 一郎	令6(2024).8.27
	窪田 純一	令7(2025).9	短大1回	織田 一成	
学部8回	新保 外廣	令5(2023).8.25		奥井 昭夫	令7(2025).2.17
	中西 猛	令7(2025).7.24		舟崎 洋一	令7(2025).8.9
学部10回	粟嶋 肅	令7(2025).2.15	短大3回	大場 克晃	令5(2023).2.26
	北崎 弘也	令7(2025).2		室河 清	令7(2025).7.29
学部11回	西田 辰朗	令7(2025).6.13	短大10回	白江 幸治	令6(2024).10.2
	加藤 泰正	令7(2025).5.23	短大12回	小杉 林盛	令6(2024).11.12
	石出 宗秀	令7(2025).10.5			

ご子息からのメールで石出君の訃報を知りました。九月二〇日の関東越縦会総会に姿が見えなかつたので、事務局に聞いたところ体調不良で欠席とのことで心配していまし  
た。

いずれはと覚悟はしていたもののあまりの早さにショックを受けました。

それは三年程前に胃がんに罹患しており、手術ではなく緩和ケアを選択したと、彼から直接聞いていたからです。私もその頃、膀胱がんで全摘



後列の1番右が石出さんです。

塚  
光雄

# 石出宗秀 (いしで・そうしゅう)君

手術を受け、お互い情報交換したものでした。

さて、彼との交友関係ですが、学生時代、彼は柴田ゼミ、私は内田ゼミで全く接觸はありませんでした。卒業後、彼は運輸省海運局、私は松坂屋上野店。畠違いの職場でした。彼と知り合つたのは、関東越嶺会の総会・新年会だったと記憶しています。その後、彼が店で買い物をしてくれたりするうちに何故か親しくなつて行きました。

タイトルの彼の名前にフリガナを付けましたが、店で背広を作つてくれたとき、上着に「M I S H I D E」とネーム入れしたところ「SHIDE」と、「むねひで」「じやなく」「そうしゅう」だと指摘され冷や汗をかいたことがあります。

ところで、今でも鮮明に覚えているのは沖縄本土復帰に伴う沖縄本島及び諸島の港湾施設整備に係る国家プロジェクトを任せられた話を「規模も予算もデカいんだ」とやや興奮気味に語つていたことです。当時、我々は若干三〇歳のソコの頃で、びっくりしたも

のでした。しかも「ワークライフバランス」もしつかり取つていたらしく、海釣りの楽しさを嬉しそうに語つっていました。私は役人の世界（彼は自分の職場をこう呼んでいた）については良くは知りませんが、彼の足跡を見ると着実に実績を積んでいったものと思います。

彼が運輸審議会を担当していたとき、「つくばエキスプレス（TX）」開業に関わり東京駅乗り入れができるなかつたことを今でも残念で仕方がないと語っていました。また、尖閣諸島が国有化されるかなり前、海上保安庁時代の経験からか中国の脅威に警鐘を鳴らしていました。

一九九三（平成五）年七月、彼が賞勲局長に就任したとき、大学同期で新橋の中華料理店でお祝いしたものです。彼は賞勲局の役割を熱く語つていてのを覚えています。綺羅星の長に上り詰めるには相当の努力があつたろうが、一度たりとも苦労話を聞いたこと

はありませんでした。本当に親しくなつたのは彼が退官後でした。彼の人柄にしさを嬉しそうに語つていました。私は役人の世界（彼は自分の職場をこう呼んでいた）については良くは知りませんが、彼の足跡を見ると着実に実績を積んでいったものと思いま

す。実・偉ぶらない。これは高位高官になつても、退官後も全く変わらない、本当に見事なものでした。また、彼の先見性・大局観にはいつも感心していました。富山を愛し、富山大学経済

人生一〇〇年時代と言われて、いる現在、心から語り合えます。謹んでご冥福をお祈りいたしました。

渡邊慶孝  
元関東越嶺会会長  
石出宗秀さんを悼む

（学部十一回）

石出さんは、海・山・平地ありの風光明媚な氷見市のご出身で、いつも、誰にも何事にも、真摯で熱意溢れる先輩でした。

石出さんは、名古屋市在住の杉浦吉治さん（学部十四回）日本山岳写真協会会員、日本山岳会会員が、上野の東京都美術館で開催されている同協会写真展で毎年、入選されていて、石出さんはゼミ生を中心のお祝い会を毎年、企画、開催されました。そして、杉浦さんに当会の講演会講師として、お声かけもしてくださいました。

石出さんのゼミの後輩で、名古屋市在住の杉浦吉治さん（学部十四回）日本山岳写真協会会員、日本山岳会会員が、上野の東京都美術館で開催されている同協会写真展で毎年、入選されていて、石出さんはゼミ生を中心のお祝い会を毎年、企画、開催されました。そして、杉浦さんに当会の講演会講師として、お声かけもしてくださいました。

最後に、石出さんが当会の設立八十周年記念誌（二〇一〇年）へ寄稿された言葉を紹介させていただきます。

「青春時代を共に富山の学び舎で過ごしたという太い絆で結ばれた幅広い世代に亘る多くの会員が集う関東越嶺会

は、この人的交流のためには格好の組織であろう。（中略）特に若手世代にこの旨を強く訴え、今後の関東越嶺会への参加を大いに期待したい。」

東越嶺会元会長  
わたなべ・よしたか  
(第14回)

## 会員広場

能登被災地から反戦を訴える  
作詞家・音楽プロデューサー  
権谷達哉さん（学部四六回一  
九九八年卒）



さんの呼びかけで企画され、前半は戦争経験者七人のコメントを、後半では、空襲を経験した時国公政さんとの対談があつた。

ユアート・エップスである。レッド・ツェッペリンやエルトン・ジョンを手がけてきたこの伝説的人物との共作によって、「NO ONE」「THIS WORLD」「MOTHER」などの楽曲が生まれた。

近年では、AIとの共創にも取り組んでいる。AI生成技術を活用したコンピューションアルバム『NOW APOLOGY』では、AIがアレンジや構成を担いながら、権谷

さんの詩が中心となつて展開される音楽が生み出された。A Iを「道具」ではなく「ヰ作者」として受け入れることで、テクノロジーと人間の感情が交差する新たな音楽の形を提示している。

ナビゲーターの権谷さんは、英國音楽界との国際的連携をバックボーンに音楽を通じて震災復興支援、地域振興、反戦平和を発信してきた。十月からは、たんなん夢レディオ（福井）、エフエム萩（山口）で定時の音楽番組を持っている。以前からFMかほくで放送中の「能登・新時代の風」はエフエムつやま（岡山）たんばコミュニティ（兵庫）にエリアを拡大して放送を継

とりわけ二〇二五年六月は  
発表された\*\*終戦八〇年記念曲「DREAM OF A WORLD」  
\*\*は、ロシア・ウクライナ  
戦争を念頭に置きながら、  
「爆弾も恐怖も差別もない世界」を夢見る希望のメッセージ  
ジソングとして注目を集めめた

戦後八〇年にあたり能登在住の戦争体験者の話で構成されるラジオ番組「繋ぐ記憶」が公開収録の上、八月中旬から「FMかほく」をはじめ全国八局のコミュニティFMで放送され、読売、毎日、北國

放送され、毎日北國西日本、沖縄タイムス、NHK等で報道された。

権谷さんが音楽活動を始めたのは二〇代半ばで、音楽NS「ReverbNation」への参加がきっかけだった。ここで彼は、オーストラリアのBree-Anne Manley、ドイツのMarco Heimann、アメリカのJimmy Dukelowとの出会いだった。

彼の活動にとって決定的な出会いとなつたのが、イギリスの名プロデューサー スチ



現在は、仮設住宅に住みた

二〇二〇年九月発行の『華麗なる明治七宝』の続編。『第一章やつぱり明治七宝は素晴らしい』から第六章

経済学部OB 82歳の円熟した会話と、18歳女性挿絵画家の自在発想の絵、まとめ上手の熟練編集者が結ぶ“読ませたい本”が、庶民が庶民らしく生きるためのヒントの本。人間力あふれる感性の一書。

受贈図書御礼と紹介

がら、地元のうたや地域振興のための楽曲も手がけている。例えば「古の眺め」「ボラ待ちやぐら」など、能登の自然や人々の生活をテーマにした作品群は、地域の学校やイベントでも使われ、音楽によるふるさと再生の一助となつている。

石田五十六さん(学部一四回)  
から自著  
『ダメンズの独り言

体育会  
春の球技大会  
(ゴルフボーラー)  
を終えて

体育会では本年度二回の球技大会を予定している。五月二四日(土)に行われた春の大会では、とくに新学期を迎えてできた新しい仲間との親睦の場となるよう企画し、昨年秋に実施して好評だったビーチボールに選定した。前回の応募チーム数は二〇チームだったので今回は三二チームを想定していたが、実際には一〇チームしか応募がなかつた。それでも会場の第三体育館は大いに盛り上がり

白熱した試合が繰り広げられた。決勝は「アウティン（裏）」と「のすらぶる（どちらも親しい友人で組んだチーム）」で強力なサーブやクイックプレーなどハイレベルなプレーが見られた。優勝は「アウティン（裏）」が勝ち取った。

この大会の課題として、情宣の遅れがあった。新学期の前からポスターやSNSの活用をして広く案内をすべきであつた。他に、女子チームへのハンディ設定やチームと事務局との相互連絡方法など、細かい対応が必要となつている。いずれも事務局がまだまだ力不足であることを否めず、今後の事務局体制の在り方を考えなくてはならない。

今回も富山県ビーチボーリル協会や朝日町の協力があつて、大会はスムーズに進行できた。感謝するとともに、今後も協力をお願いしたいと思つている。

今年二回目の競技大会は、ボーリング大会を11月22日(土)に千歳町のゴルデンボウルで実施した。次号で報告します。



# 富山大学基金だより

第26号  
2025.11.1発行

## ●学部1年次対象 短期海外英語研修 研修体験記 〔令和7年2月・3月に、2週間から4週間の短期海外派遣〕

所 属：人文学部 人文学科 2年  
名 前：川田 真央  
留学先：ニュージーランド  
留学先機関名：オークランド大学



この度は、富山大学基金の短期海外派遣プログラム支援事業に参加させていただき、ありがとうございました。私はオークランド大学内にあるELAという語学学校で約5週間英語の授業を受けました。授業ではグループワークやディスカッションの機会が多く、クラスメイトと積極的に交流しながら、楽しんで英語を学ぶことができました。

ニュージーランドでの生活で特に印象に残ったのは、現地の人々の親切さと礼儀正しさです。例えば、バスを降りる際には乗客全員が運転手に“Thank you!”と声をかけており、その光景に心が温かくなりました。

今回の研修を通じて多様な価値観に触れることができ、自分の視野を大きく広げることができました。この貴重な経験を活かし、今後も積極的に英語学習に取り組んでいきたいと思います。

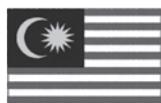


所 属：理学部 理学科 2学年  
名 前：清水 里桜  
留学先：国名 台湾 留学先機関名：海南大学



この度は短期海外語学研修参加に関してご支援していただきありがとうございます。約2週間の研修では、英語で英語の文法を学ぶ授業や調理実習の授業、CAに関する授業など、普段とは異なるジャンルの授業を多く体験できました。みんなで夜市や大学の食堂に行ったり、観光に行ったりと授業外の活動も楽しむことができました。

今回の海外研修は、自身の英語学習のモチベーションを高めたり異文化理解を深めたりする点で非常に有意義なものであったと感じております。海外の人や文化との出会いを今後さらに積極的に行っていきたいと強く思います。



所 属：経済学部 経済経営学科 2学年  
名 前：西田 有希  
留学先：マレーシア 留学先機関名：トゥンクアブドゥルラーマン大学

この度は昨年度の学部1年次対象短期海外英語研修に際し、富山大学基金からのご支援ありがとうございました。私は海外に行ったことがなく、大学生のうちに経験したいと考えていたのですが、丁度この基金・短期研修のことを知り、ぜひ活用させて頂きたいと思い研修に参加しました。

マレーシアはマレーや中国、インドなどの文化が混ざる多民族国家で、公用語もマレー語なので研修前は過ごすのが大変なのだろうと考えて身構えていました。しかし、いざ過ごし始めると、英語が話せる人も多く、むしろ多民族国家だからこそいろんな料理や文化を体験できました。

この研修で1番心に残ったのは、行かなきや良い面も悪い面もわからなかつたということです。ネットだけでは絶対知り得ない貴重な経験を学生のうちにできたことはとても有り難く思います。この経験を糧に、これからも語学学習や留学、他国の人々とのコミュニケーションに積極的に挑戦していきます。

写真1：マレーシアで有名なお菓子「オンデオンデ」



写真2：ターンテーブルでの会食、どれも非常に美味しかったです



## ●富山大学基金事業 学生海外留学支援事業 留学体験記

所 属：人文学部 人文学科 3学年

名 前：小屋敷 幸花

留学先：大韓民国 留学先機関名：慶北大学

期 間：令和7年3月～6月



この度、富山大学基金事業における学生海外留学支援事業の奨学生として多大なるご支援を頂き、誠にありがとうございました。私は、3学年の前学期に韓国の大邱に所在する協定校である慶北大学に留学してきました。現地の学生に混じって講義を受け、マイクを回して議論にも参加し、班員の学生と共に資料を集めて発表をしたことは、活動的で能動的な韓国の教育制度について身をもって知る良い経験となりました。特に、文学作品を通して韓国現代社会に潜む現実について考える授業は、自国をも省みる貴重な機会となりました。

他にも、日韓交流のサークル活動に参加したり、現地の学生が日本語の会話練習をする活動の手伝いをしたりすることで、互いの文化や考え方を直接共有して、国籍を超えた新たな視点で両国に対する理解を深め合うことができました。

留学に行って得たものを意義のあるものとするために、これからも考えることを怠らず、学業に励んでいきます。



## ●国立大学法人富山大学統合20周年記念式典、記念シンポジウムを挙行

令和7年10月1日、富山大学黒田講堂にて、統合20周年記念式典及び記念シンポジウムが開催され、関係機関、卒業生、在学生、教職員約300名が本学20周年の節目を祝いました。

記念式典では、斎藤滋学長が挨拶し、地域と世界に開かれた大学としてさらなる発展を目指す決意があり、記念シンポジウムのパネルディスカッションPart 1では「富山大学の今」をテーマに、本学の統合から現在までの取組及び未来への展望について意見交換が行われ、パネルディスカッションPart 2では本学卒業生4名と、現役学生を加えた5名が登壇し、「富山大学のNEXT20年に向けて」をテーマに、富山大学での経験と今後さらに魅力ある大学となるための提言を自由な発想で語り合いました。

統合20周年記念事業に、多くの企業・個人の方々からの寄附がありました。皆様からの寄附を有効に利用させていただき、更なる地域と世界に開かれた大学を目指してまいります。今後とも、富山大学へのご支援をお願い申し上げます。



## ●寄附者様ご芳名一覧 (令和7年4月～令和7年9月)

寄附者のご芳名は五福キャンパス事務局棟玄関フロア及び富山大学基金ウェブサイトでもご紹介しております。

### 【個人】(50音順にて記載)

會澤 宣一 井ノ口 騎 岸岡 弘 鞍岡 利昭 栗原 宏樹 酒井 秀紀 坂本 晶奈 XIE BINGXIN 須藤 正幸 竹越 栄俊 竹村 樹里 遠山 和大 永尾 恵司朗 中田 由紀子 濱中 新矢 藤井 ヒメ子 藤井 康雄 藤本 孝子 前田 等 森本 直幸 吉田 勝一 和田 直也 (ほか公表辞退 25名)

### 【企業・法人等】

井上商事株式会社 株式会社今井機業場 射水建設興業株式会社 大高建設株式会社 大谷製鉄株式会社 株式会社オカザキ工業 株式会社KEC 株式会社小松電業所 株式会社三共空調サービス 株式会社シンソーワ 大太平洋製鋼株式会社 田中精密工業株式会社 中越合金鋳工株式会社 株式会社月星製作所 富山スガキ株式会社 株式会社富山第一銀行 富山大学生活協同組合 株式会社なかたに印刷 日本海計測特機株式会社 株式会社HARITA 北陸綜合警備保障株式会社 北陸電力株式会社 松本建設株式会社 株式会社ヤマシタ ヤヨイ化学工業株式会社 一般財団法人 立仁会 (ほか公表辞退 4社)

## ●富山大学基金の寄附受入状況

受入期間：令和7年4月～令和7年9月末

寄附の種類	寄附件数	寄附金
富山大学基金(一般)	61件	14,625,750円
うちリサイクル募金	5件	26,668円
修学支援基金	13件	312,000円
研究等支援基金	14件	665,000円
合 計	88件	15,629,418円

## ●富山大学、メルマガはじめました！



毎月、富山大学の最新情報をお届けします。



University of Toyama



お問い合わせ先：富山大学総務部総務課広報・基金室(基金担当)

〒930-8555 富山市五福3190 Tel. 076-445-6178 Fax. 076-445-6063

E-mail : [kikin@adm.u-toyama.ac.jp](mailto:kikin@adm.u-toyama.ac.jp) URL : <https://tomidaikikin.adm.u-toyama.ac.jp>

**住所変更通知欄 (越嶺会事務局 FAX:076-445-6419)**

住所や姓名等に変更があった際はFAX等でお知らせ下さい。

お名前 \_\_\_\_\_

新住所 \_\_\_\_\_

(差し支えなければメールアドレス \_\_\_\_\_)

新電話 \_\_\_\_\_

新勤務先 \_\_\_\_\_

――通信欄――